

一房のぶどう



第32号

平成26年 10月9日 編集・発行/あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111代

卓球教室とトークショー 四元奈生美プロと一緒に



あきる野市教育委員会では、あきる野市の教育目標である「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」を実現するため、平成26年度に策定したあきる野市教育基本計画(第2次計画)に基づき、施策を展開しています。
夏休み期間中にも、重点施策である「青少年の健全育成の推進」「スポーツの推進」の実現のため、市民の方々のご協力をいただきながら各種事業を行いました。

人が育ち 人が輝く あきる野の教育



あいさつ標語カルタ大会
みんな真剣勝負!



大島・子ども体験塾
日の出浜でシュノーケリング

第54回全国中学校水泳競技大会でメダル獲得! 御堂中学校3年生尾崎健太さんが、400m自由形で3位、1500m自由形で2位を獲得!!



地域や年齢の異なる新しい仲間との出会いやいくつかの体験を通し、ひとまわり大きく成長した子どもたちは、新たな友情と思い出を胸に、あきる野へ帰って来ました。

子どもたちは、美しい海でのシュノーケリングなど大島の自然を体感するとともに、昨年の土砂災害の跡を目の当たりにし自然の力の大きさに大変驚いた様子でした。

実施しました。
今年、8月6日(水)から4泊5日の行程を予定していましたが、台風11号の影響で8月8日(金)までの2泊3日に行程を短縮し、プログラムを一部変更して

毎年、あきる野市と羽村市の70人の小中学生(小5~中3)が参加し、東京都大島町で自然や歴史・文化に触れる様々な体験を行っています。

「大島・子ども体験塾」

あきる野市の目指す
小中一貫教育

あきる野市教育委員会では、全ての子どもが楽しく生き生きと学校生活を送れるために、小中一貫教育に取り組んでいます。市内には6つの中学校区があり、各中学校区では、「生きる力」を育むことを理念とした学習指導要領のねらいや趣旨に則して小中一貫教育を進めています。

各中学校区の小中一貫教育の様子について、前号(31号)では、「秋多中学校区・東中学校区・西中学校区」を紹介しましたので、本号では「御堂中学校区・増戸中学校区・五日市中学校区」の紹介をしたいと思います。

小中一貫教育中学校区一覧

- 秋多中学校区
 - 秋多中学校・多西小学校・南秋留小学校
- 東中学校区
 - 東中学校・東秋留小学校・屋城小学校・前田小学校
- 西中学校区
 - 西中学校・西秋留小学校・一の谷小学校
- 御堂中学校区
 - 御堂中学校・草花小学校
- 増戸中学校区
 - 増戸中学校・増戸小学校
- 五日市中学校区
 - 五日市中学校・五日市小学校

あきる野市立学校小中一貫教育のようす②

御堂中学校区

御堂中学校、草花小学校

1 目指す子ども像 「最後まであきらめないで、挑戦する子ども」

2 育てたい力

- (1) 自ら学び自ら考え表現できる力 (知)
- (2) 自他を認め合う力 (徳)
- (3) 体を鍛え、最後まで続けようとする力 (体)

(2) 小中一体となった取組

毎年10月に小学生の中学校訪問を実施しています。小学生が中学校の授業を参観し、中学校生徒会役員による学校紹介の後、部活動を体験します。中学校の様子を事前に知ること、入学後スムーズに中学校生活を送ることができています。また、中学校生徒会と小学校児童会によるあいさつ運動を実施しています。

3 主な取組

(1) 学力向上に向けた取組

東京都教育委員会による言語能力向上拠点校として、小中合同研修会を年間4回実施しています。小・中学校の教員が互いに授業を参観し協議会を行ったり、外部講師を招いた研修会を行ったりすることにより、言語能力の向上に取り組んでいます。また、中学校の理科の授業に、小学校の教員が入り、TTの授業を行っています。これらの取組をとおして、児童・生徒の学力の向上を目指しています。



増戸中学校区

増戸小学校、増戸中学校

1 目指す子ども像 「どこへ行ってもやっつけていける人間」

2 育てたい力

- 自らの生き方を考え選択し、よりよく生きるための「思考力・判断力・表現力」
- 自らの生き方を豊かにし、よりよく生きるための「技能」
- あらゆる場面で、自らの生き方を実践しようとする事ができる「行動力」

3 主な取組

(1) 教科部会、分掌部会の設置

小中一貫教育を目指し、小中一貫した指導の研究・実践を行うための『教科部会』と小中一貫して人間力を育成するための『分掌部会』を設立しました。『分掌部会』は「教務部会」「生活指導部会」「研究・進路指導部会」の3つの部会で構成されています。

(2) 交流活動

- ①部活動体験
 - 6年生が、増戸中学校にある部活動を体験する活動をしています。
- ②出前授業
 - 中学校の英語科教員が、小学校へ行き英語の授業をする取組を行っています。

(3) 合同行事

- ①ジョイントコンサート
 - 小学校の吹奏楽団と中学校の吹奏楽部によるコンサートを毎年実施しています。
- ②小中合同運動会の試行
 - 平成26年10月4日、増戸小学校・中学校の校庭を使用して合同運動会を試行しました。



五日市中学校区

五日市中学校、五日市小学校



(小中合同研究授業)

1 目指す子ども像 「明るく 賢く たくましい 五日市の子ども」

- 2 育てたい力
- (1) 自らすすんで学び、思考し、判断し、表現する力
 - (2) 感動する心を基盤とする思いやりのある実践力
 - (3) 心身の健康を育む力
 - (4) 故郷の伝統・文化を尊び創造する郷土愛

3 主な取組

(1) 小中合同挨拶運動

明るく活気のある学校を小中協力してつくるために、年間3回、小中合同で挨拶運動を行います。



(合同挨拶運動)

(2) 連携行事

地の利を生かして、運動会、音楽会、避難訓練等の行事を連携して行います。



(中学校運動会予行参観)

(3) その他の取組

- ①五日市小中学校各教科の「指導計画表」を作成し9年間を見通した指導を行っています。
- ②中学校の授業参観週間において小学校の保護者に案内状を配布し交流参観を行っています。

あきる野市・栗原市中学生友好親善交流会 ～今年度は栗原市で開催～

8月4日(月)から8月6日(水)までの3日間、あきる野市と宮城県栗原市の中学生による友好親善交流会が行われました。

この事業は、「五日市憲法案」起草者の千葉卓三郎の生誕地が宮城県栗原市(旧志波姫町)であることがきっかけで、平成元年から行われています。今年度の交流会は、あきる野市の生徒代表31人を含む40人の訪問団が栗原市を訪問し、3日間にわたる交流会を実施しました。

交流会は、生徒会活動による交流、部活動交流としてサッカー部による交流、参加生徒全員による体験活動等が行われました。

生徒会交流では、あきる野市6校、栗原市8校の各生徒会代表が集まり、前半は生徒会活動を紹介し、後半はグループごとにテーマを設けて討論し、発表しました。各中学校の取組等の情報が共有でき、今後の生徒会活動に生かせるヒントが得られたことと思います。

部活動交流では、あきる野市は西中学校、栗原市は瀬峰中学校が参加し、対戦しました。大変暑い中でしたが、とても白熱

した試合が行われ、スポーツを通じて交流を深めることができました。

昼食時には、餅つき体験を行いました。体験活動では、NPO法人くりはらグリーンツーリズムネットワークの講師による、箸作りを体験しました。自分で作った世界に一つの箸を手にした、生徒同士の距離を縮めることができました。

3日間の交流会を通じて、それぞれの生徒が、日常の中学校生活では味わえない経験をすることができました。今回の交流体験により、あきる野市と栗原市の友好親善の輪がより広がっていくことが期待されます。



活発な意見交換が行われた生徒会交流



熱戦が繰り広げられた部活動交流

「教育フォーラム」の開催

現在、子どもたちをめぐる状況は、不登校・いじめ等の問題行動の増加や、子どもたちを取り巻く社会環境の悪化など、様々な問題が生じています。こうした中、よりよい社会をつくるためには、私たち大人がどのような姿であるべきか、みんなで考え深めていきたいと思っています。

今年度のテーマは、「自分の可能性を求めて」です。大人の可能性を私たち自身が正しく理解し、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任のもとに相互に連携・協力して、子どもたちの可能性を伸ばしていきますましよう。

保護者や教育関係者、地域の方々を始め、多くの皆様のご参加を、お待ちしております。

日時…平成26年10月11日(土)

午後1時30分から
午後3時30分まで

会場…ふれあいホール

(秋川ふれあいセンター1階)

テーマ…自分の可能性を求めて

講師…成田 真由美氏

(一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技

大会組織委員会理事)

問合せ…指導室指導係

☎55812431(直通)

四元奈生美プロ卓球選手による卓球教室とトークショー

スポーツへの関心を高めるため、毎年トップアスリートとの交流事業を行っています。

今年も卓球の四元奈生美プロをご招待し、8月31日(日)五日市ファイブプラザにおいてトークショーと卓球教室を開催しました。小学生から80歳代まで約90名の方に参加いただきました。

四元さんは、立川市出身で、卓球は小学校1年生から始め、あきる野市のジュニア卓球クラブでも卓球を習った経験があり、中学1年の時に全日本カデットの部で、初優勝され高校・大学・社会人と大活躍されています。トークショーでは、テーマを「卓球を華やかなイメージに」と題し卓球の地味なイメージを変えたいと自らユニフォームのデザインを手掛け、カラフルなフニフォームを着用し一躍話題を呼び、卓球界のジャンヌ・ダルクと呼ばれるようになったことなど卓球に対する思いを話されました。

卓球教室では、16台の卓球台全てを回り多くの参加者と真剣に打ち合いながらも笑顔で指導されていました。参加した中学生からは、「プロの選手から指導を受けたことで感動した」「今後の課題も見つかり励みになった」との感想が寄せられました。

夏だ！カルタだ！おとなと子どもが真剣勝負！あいさつ標語カルタ大会

第6回あいさつ標語カルタ大会を7月12日に五日市ファイブプラザで開催しました。

この事業は、「おとなが手本のあきる野市」推進事業として、青少年委員・青少年健全育成地区委員会連絡会と教育委員会の共催により毎年実施しています。試合では一般市民から公募して作成した「あいさつ標語カルタ」を使います。参加者は4つの部門に分かれ、3人1組のチームで戦いました。参加者が過去最多となった今大会の優勝チームは次の通りです。

小学校1・2年生の部

(17チーム)

【優勝】 さらさら金メダル (西秋留小学校)

小学校3・4年生の部

(24チーム)

【優勝】 南 英雄ガンダム (南秋留小学校)

小学生5・6年生の部

(26チーム)

【優勝】 ガンガンとるとる (東秋留小学校)

フリースタイルの部

(おとなのみまたは子どもと混合)

【優勝】 南秋留小創立40周年記念PTA (12チーム)

このほか、西中学校5名の生徒がボランティアスタッフとして参加し、大会の運営にあたりました。



紹介します！あきる野市青少年委員です！！

あきる野市青少年委員は、市内の青少年健全育成団体から推薦され、教育委員会の委嘱を受けた16名で構成されており、市の青少年の育成活動を支援しています。具体的には、

- ①「あいさつ標語カルタ大会」の企画・運営
 - ②「中学生の主張大会」の企画・運営
 - ③研修活動（あきる野市の青少年の現状を知るための活動や、青少年施設の視察等）
 - ④「少年少女ドッジボール大会」の運営協力
- などを行います、地域の青少年を見守っています。

平成26年度アーティスト・イン・レジデンス事業

教育委員会では、アーティスト・イン・レジデンス事業を実施しています。アートスタジオ五日市(戸倉300番地)に9月1日から11月30日まで外国人1人と国内から2人の計3人の若手版画家を招き、地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うものです。

今年度で22回目を迎え、アーティストの出身国もこれまでア

推薦地区及び氏名
東秋留地区 中村 利久
多西地区 久保嶋 奈美
西秋留地区 三谷 エリ
屋城地区 加瀬 美子
南秋留地区 中村 悟
草花地区 木村 晴彦
一の谷地区 浦田 俊文
前田地区 草崎 至雅
増戸地区 山本 忠行
五日市地区 乙訓 高一
秋多中学校地区 三浦 美智留
東中学校地区 瀧島 洋司
西中学校地区 石坂 元宏
御堂中学校地区 笹生 祥子
増戸中学校地区 安部 光記
五日市中学校地区 私市 耕治



- 安齋歩見さん (東京都小平市在住)
- 畠山美樹さん (千葉県松戸市在住)
- Yana Poppeさん (オランダ・フローニンゲン在住)

広報紙「一房のぶどう」に対する感想をお寄せください

今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

問合せ・教育総務課教育総務係
55812406 (直通)
FAX 55811560